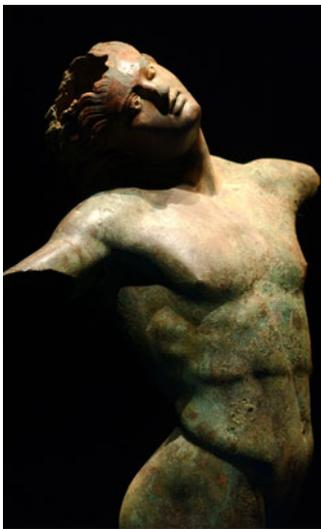


平成 17 年 6 月 20 日

イタリアパビリオン

「踊るサテュロス」像の芸術性について深く知ろう！！ イタリア美術史に詳しい石鍋真澄教授による講演会を開催します

フィレンツェ大学出身で、イタリア美術に関する多くの著作を持つ石鍋真澄氏（成城大学教授）が、イタリア館で展示されているブロンズ像「踊るサテュロス」について講演をいたします。万博開幕以降、サテュロスは訪れた多くの人々を魅了し続けています。イタリア館では一般の来客者の方々に、この像の芸術性についてもっと深く知り、感じてもらいたいと考えこの講演会を開催いたします。



【講演の内容】

古代の貴重なブロンズ作品の多くが「海からの贈り物」であったように、《踊るサテュロス》はシチリア近海から引き上げられました。酒に酔って恍惚と踊る、サテュロスは非常にユニークなブロンズ像です。ベルニーニの《ダフネとアポロ》を思わせる、バレダンサーのような造形は、ブロンズ彫刻の可能性を極めようとしたかに見えます。この興味深い作品について、さまざまな問題点や芸術作品としての価値などを、できるだけ分かりやすく話したいと思います。

【石鍋真澄氏プロフィール】

1949年生。東北大学大学院修士課程修了。フィレンツェ大学に留学をへて、現在、成城大学教授。著書に『ベルニーニ』（吉川弘文館、1985）、『聖母の都市シエナ』（吉川弘文館、1988、第12回マルコ・ポーロ賞受賞）『サン・ピエトロが立つかぎり』（吉川弘文館、1991）『ありがとうジョット』（吉川弘文館、1991）『アッシジの聖堂壁画よ、よみがえれ』（小学館、2000）『サン・ピエトロ大聖堂』（吉川弘文館、2000）『ピエロ・デッラ・フランチェスカ』（平凡社、2005）などがある。

【日時】 6月25日（土） 午後3時～

【場所】 イタリアパビリオン 2階 会議室

恐れ入りますが、21日午前中で申し込みは終了致しました。